

ビジネスの創出と良い取引の成立を目指して

JSHIP

JJET magazine No. 28 / 2022 MAR



イベントレポート
JJET 賀詞交歓会

拡大報告
関西支部

SPECIAL TALK

外国人雇用におけるIT業界

AYA (佐藤綾子) × 杉山 茂治

日本語教育コーディネーター
外国人向け日本ビジネスマナー代表講師
(株式会社インカレックス 取締役)

JJET 副理事長・国際委員会 委員長
(株式会社オフィス未来 代表取締役)

TOP MESSAGE

コロナで実体経済に大きな影響を受けています。製造業では原材料・部品（半導体不足、原油、非鉄金属など）の高騰が止まりません。流通業、飲食業、医療、教育機関では濃厚接触による、かつてない人手不足が顕著になっています。自動車、電化製品、パソコン、サーバー、プリンターなど数多くの製品が製造出来ず軒並み納期が長くなっています。又、発熱外来や保健所も対応能力をオーバーし機能停止に等しい状況です。このため、消費、株価、為替は年初の予想を大きく下回っています。今の日本の購買力は50年前と同じです。全てがコロナ禍のせいではないと思いますが、世界的に大きな転換期に入っているような気がします。年が明け2か月経ちますが、JIETの活動は再びリモート、ハイブリットに戻っています。良いか悪いかわかりませんが、この繰り返しが続いていますので事業や活動に影響はございません。

大田区や足立区など城東地区を中心に東京の中小製造業が頑張っています。「蒲田駅（大田区）の南口から設計図を紙飛行機で飛ばすと翌日には完成品が戻ってくる」という話があります。（どこまで本当かわかりませんが…）大田区は専門特化した町工場が今でも4360社があり、製造品出荷額はリーマンショック時から半減していますが製造品出荷額は7796億円です。80%の工場が9名以内の企業です。原子炉の制御棒や航空宇宙関連部品などCNCより精度を出せる「おっさん」たちが、まだまだ健在です。お互いが自分の得手不得手を知っているので自社で完結させようとは考えていません。「こんなの出来る？」で近所の工場（こうば）は今でもお互いに仕事（高精度な加工）を回しています。社長は営業兼務工場長、奥さんは経理、給与管理などを担当しており、多忙な日々を送っています。近隣の工場に発注するわけですが、自社設備の稼働状況や原材料の在庫などをシェア出来る程度のシステムを立ち上げ、今ではCloudに移行しています。若手の社長同士がデジタルを介し、人手を極力かけずに新しいネットワークを構築しています。これをデジタルトランスフォーメーション（DX）と言いますが彼らは「昔ながらの繋がりをデジタルにした」程度の感覚です。

私事ですが、大田区の公立中学、高校に通っていました。町工場の倅も沢山いました。又、弊社の創業（1985年）時は、精度は高いが加工賃も高い、プライドを持った呑川沿いの糞谷や六郷、大森、羽田などの切削、プレス、ゴム加工のお客様から始まりました。今では工場は移転し、だいぶ少なくなりましたがここが弊社の原点です。大田区だから東京だからではなく、製造業でも小売りでも飲食でも同じです。地方でもはじめるべきだと考えます。手を挙げてくれる支部、委員会があれば一緒に考え、実行するサポートをしていきたいです。厚生労働省からの就職氷河期世代向け短期資格習得コースも来期も受託されました。最後の1年（実質は半年）です。来期も合同説明会、会社訪問、採用など会員様のご協力頂きたくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 日本情報技術取引所 理事長 **南出健治**



日本語教育コーディネーター/外国人向け日本ビジネスマナー代表講師 **AYA(佐藤 綾子)** × 杉山 茂治 JIET 副理事長・国際委員会 委員長 (株式会社インカレックス 取締役) (株式会社オフィス未来 代表取締役)

SPECIAL TALK

特集 外国人雇用におけるIT業界

「外国人の雇用がうまくいかない」「日本語教育を行ったのに、仕事が出来ないようにならない」——IT業界の人材不足が叫ばれる今、外国人雇用に乗り出す企業は多いが、現場の悩みは尽きない。そんな企業に向けて、外国人向けのオリジナル教育コンテンツを展開しているのが、株式会社インカレックスの取締役であり、日本語教育コーディネーターのAYA（佐藤綾子）さんだ。JIETの杉山茂治副理事長とともに、現場に必要な外国人育成や日本語教育について語って頂いた。

JSHIP | No.28 | 2022 MAR |

- 2 TOP MESSAGE
- 3 SPECIAL TALK
特集 外国人雇用におけるIT業界
- 8 イベントレポート
JIET 賀詞交歓会
- 12 支部報告
[Pickup] 東北支部
- 22 委員会報告
[Pickup] 情報システム委員会
- 28 拡大報告
[Pickup] 関西支部

編集 JIET 広報委員会
編集長 貝瀬 幸敏
編集委員 藤生 香織
宮本 英幸
八代 隆晃
事務局 須賀 貞裕
Special Thanks 池邊 和孝 (青年委員会)
デザイン yoshiyuki kamata designworks



日本語教育コーディネーター
外国人向け日本ビジネスマナー代表講師
(株式会社インカレックス 取締役)

AYA (佐藤 綾子)

海外教育機関や外国人受入れ企業の日本語教育と人材育成に関するコンサルティングや、その指導者の育成に携わっている。最近では真の多文化共生社会実現のための「異文化間コミュニケーション研修」を日本企業や自治体、外郭団体向けに実施し、日本と海外の架け橋役を担っている。

JJET 副理事長・国際委員会 委員長
(株式会社オフィス未来 代表取締役)

杉山 茂治

大阪府八尾市生まれ。大学卒業後、大手事務機器メーカーに就職、のちにシステム会社へ転職。10年間のサラリーマン生活を経て、株式会社オフィス未来を大阪で設立後、東京支社を設立。2013年にJJET入会し2015年に理事就任。2018年には副理事長就任し現在に至る。



日本語教育のゴールは「言葉が話せること」ではない

杉山 今日はよろしくお願ひします。私は株式会社オフィス未来の代表取締役として、IT企業の経営を行いながら、JJETの副理事長、国際委員会の委員長をさせていただき、海外支部の設立や活動支援を担当しています。

AYA 私は株式会社インカレックスという会社で、外国人を雇用する日本企業と関わりながら、日本語教育による外国人人材育成を行っています。私自身、20年以上日本語教師をしてきた経験がありますので、講師の育成もしてい

ます。

もともと、留学生向けに日本語教師をしていたころ、IT企業さんから「外国人スタッフに日本語を教えてほしい」という依頼をたくさんいただいていた。多くの企業は、どんなにがんばっても外国人とコミュニケーションが取れない、外国人スタッフに業務の指示をしてもきちんと理解してもらえず、業務が遂行されない、といった悩みをお持ちでした。

こうした悩みをお聞きするうち、「単に日本語を教えるだけではいけない。日本企業と外国人の架け橋になるべきだ」と気づきました。そのためは、一方通行で外国人だけに日本語を教える

のではなく、日本企業にも「外国の方を受け入れるということはどういうことなのか」「コミュニケーションはどうとすべきか」をお伝えし、ともに考えて成長する伴走者になる必要があると思ったのが、現在の仕事のきっかけになっています。

杉山 なるほど。JJETに国際委員会が設立されたのは、将来的にIT人材が不足することが予想され、海外の労働力を活用していきたいというねらいがあったからです。日本人との交流を図ったり、海外にあるJJETのような団体とコラボをすることで、海外の人々に日本で活躍していただきたい。それをゴールにしています。

AYA まさしくそれを私も目指しています。これまでIT業界の方々と関わってきたなかで、外国の方を受け入れた企業側から「日本語を学んだからといって、すぐに仕事ができるわけではない」と言われることがたくさんありました。確かに、これまでの海外の人材育成は、日本語を教えることが主軸に置かれていました。しかし私は、日本語はコンテンツの一つにすぎないと思っています。最終的なゴールは、企業の現場で活躍すること。日本語はそのためのツールなのです。

現場で活躍するために必要なのは、日本語をスラスラと話すことではありません。例えばIT業界の場合、日本語の文章を読むよりも、業務のフローチャートを使って物事を考えることが大切になります。そのため、私が行っている育成プログラムでは、日頃の業

務や社内での様々なやりとりをすべて短時間でフロー化してもらう、といったことを行っています。

そこで得たスキルは、後々現場で「ここで問題が起きたらどうすればいいのかわかるのか」「それを誰に伝えればいいのかわかるのか」と考える力になり、現場のコミュニケーションに活かせるわけです。そこからマネジメント能力や、コミュニケーション能力につながっていく。結果的に日本語も伸びます。

異文化への理解と「シンプルジャパニーズ」が重要

AYA 近年は英語を使って業務を行うIT企業が増えてはきたものの、多くの企業では、英語が必要な場面でもなんとか日本語で押し通すパターンが大半です。それに、「ここは日本の企業。もう大人だし、仕事なんだから、日

本語が通じない外国人の能力が低いのだ」と決めつける方すらいます。

そもそも根本的に、日本と外国の方のコミュニケーションの取り方は違います。例えば、日本人はちょっと表現力が乏しいですね。そのため、外国の方は「自分は評価されているのだろうか」「日本人が何を考えているのかわからない」と悩み始めて、職場から離脱していく。さらに待遇の良い企業に移ってしまう。そうになると、企業側にも「たくさんコストをかけて採用したのに、定着しない…」と悩みが生じてしまうのです。

私は、そもそも人間関係の構築を行うことが最優先だと考えます。お互いに考えていることが伝えられる関係を目指すのです。だからといって日本人に「英語を勉強しましょう」と言いたいわけ

外国人雇用は「日本語教育」だけでは成功しない



ではありません。「やさしい日本語」を使ってほしいのです。

すでに多くの自治体では、「やさしい日本語」は普及し始めているようです。しかし、やさしい日本語を使うのは案外難しいものです。例えば杉山さん、「救急車呼んでください」と外国の方に言うとき、どうやって伝えますか。

杉山 「エマージェンシーカー」でしょうか。

AYA それは英語ですね。例えば、「病院まで運ぶ車を呼んでください」など。どんな方が聞いても同じイメージを持つものであることが求められます。小学生に話す日本語とも、また違います。

現場でよく聞く「現状回復しておいてください」というような言葉も、外国人にとっては難解な言葉です。しかし「元に戻しておいてください」と言うと伝わりやすい。日本人が、こうした言い換えをして外国人に寄り添うだけで、コミュニケーションはぐっとしやすくなるんです。これを「シンプルジャパニーズ」といいます。

これはルールというよりも、マインドの話です。異文化を理解する重要性を、日本企業の方には知っていただきたいですね。

杉山 新入社員教育でも同じことが言えそうです。新しく入ってきた方に、「これで伝わるだろう」と思いながら話してしまう。伝わらなかったときには「どうして伝



わらないんだ」と思ってしまう。今後、さらに外国人の雇用が増えると予想されるので、言葉だけではなく、宗教や文化を受け入れる土壌づくりも大切だと痛感させられます。そうしなければ、日本に定着してくれません。

良き企業、良き先輩の元に定着することで、ITの技術は身につけていきます。それをゆくゆくは自国でも活かしていただきたいので、日本企業は受け入れ体制を強化してほしいですね。まずは「相手を理解しよう」という思い

やりが大切なのだ、つくづく感じます。

**企業と外国人を結ぶ
コーディネーターとして**

AYA 日本企業の多くは、コスト的な問題で、外部の日本語教師を導入するのではなく、社内で1ヶ月だけ日本語教育を行うパターンが多くありますが、私はそこに課題を感じています。まずは自治体企業への働きかけを行っています。

現在、異文化間コミュニケーションの研修や、外国人雇用に関するセミナーを行っています。まだ小さい動きにすぎませんが、この活動によってマインドや考え方

が広がれば、多くの企業に気づいていただけるのではないかと期待しています。

また、私自身、自分のことを「日本語教師」とはあまり思っていません。企業と外国の方をつなぐコーディネーターだと自覚しています。1社につきコーディネーターが1人いると、企業側も安心するかと思いますので、弊社でも仲間を増やしている最中です。

杉山 今までAYA先生のお話を聞いていて、従来の日本語教師のイメージとずいぶん違うなと感じ、驚いています。語学を教えてくださいただでなく、異文化のコミュニケーションまでサポートしていただける。非常に素晴らしいと思います。

企業研修というのは、実践的な知識を頭に詰め込めたい、というものではありません。小手先の日本語を教えるのではなく、「急がば回れ」の意識できちりと技術を伝えていくことが重要ですね。

**受講生の顔が変わる研修で
相互理解を**

AYA 先日、ベトナムから日本企業にいらっしゃった優秀なブリッジSEの方に研修を行う機会がありました。同じ企業の日本人社員の方もものぞきにいられたのですが、みなさん非常に驚かれました。なぜなら、ベトナムの方がいつもとまったく違う表情でレッスンを受けていたからです。それ以来、日本人社員の方に「シンプルジャパニーズの研修を受けて、外国の方に寄り添っていきたい」とおっしゃっていただけるようになりました。

IT業界だけではなく、おそらく多くの日本企業が、何から始めればいいのか、どう外国の方に声をかけていいのか、わからないのだと思います。そんな課題を抱えている企業様には、ぜひご相談いただきたいですね。

杉山 そうですね。「郷に入れば郷に従え」という言葉の通り、まずは日本の習慣やルールに沿って、しっかりと技術を学んでほしいと思っています。そしてゆくゆくは、海外にその技術を展開して活躍できる人材になっていただきたいですね。

**異文化を理解するマインドが、
外国人雇用を促進させる**

JIET 賀詞交歓会



当日の式次第

- 17:00 開会の挨拶
理事長 南出健治
経済産業省商務情報政策局 情報技術利用促進課課長補佐 松本理絵様(事務局代読)
- 17:20 乾杯挨拶
副理事長 杉山茂治
- 17:15 テーブル毎に歓談
- 18:10 新理事挨拶
北海道支部長 斎藤正泰
北陸支部長 池田一博
- 18:20 中締め挨拶
副理事長 川崎友裕
- 18:25 閉会
理事によるお見送り

2022年1月18日、新型コロナによる感染者が収束しない中ではありましたが、JIET 賀詞交歓会が、渋谷のセルリアンタワー東急ホテルにて、厳重な感染予防対策を講じて開催されました。受付時にはワクチン接種済証明書の提示に加え、検温や手消毒などの出来る限りの感染対策を実施しました。又、会費については、受付時に密になることを考慮し、後日会員様に、お振込をお願いするという形で、密になることを徹底的に避ける対応を取りました。

■理事挨拶

南出理事長が、冒頭に賀詞交歓会の挨拶を行いました。

2021年末からの急激なオミクロン株の拡大を受け、各理事から様々な意見が出ており、開催の決定が直前まで決められない難しい状況でございました。多くの行事が中止され、直接会ってビジネスに繋がる話が出来ていない現状を鑑みて、

開催データ

2022年1月18日 / 場所：渋谷セルリアンタワーボールルーム
参加者：90人 / 備考：感染対策を厳重に行い実施



前列左から、齋藤理事、貝瀬理事、野木副理事長、南出理事長、杉山副理事長、川崎副理事長、奥園理事
後列左から、西監事、小畑理事、池田理事、本田理事、池邊理事、岩下理事



司会進行の事務局山田。経済産業省松本理絵様のご挨拶を代読



新年の挨拶を行う南出理事長



乾杯の挨拶を行う杉山副理事長

JIETという団体として会員様に、何が出来るかを最優先に考え、なおかつ感染予防を実施し、賀詞交歓会が開催出来ないものかと、関係各所と綿密に調整や協議を行って参りました。ビジネスの創出と良い取り引きの成立がJIETのスローガンであり、様々な方との出会いこそがビジネスのきっかけであるため、多くの方と交流が出来る賀詞交歓会を開催することにしたのが、今回の開催の大きな理由でございます。又、コロナ下においても、多くの委員会や国内・海外支部等がオンラインを活用し、活発に活動することで、JIETの人の輪が広がっていることも熱く挨拶の中でお話致しました。

■来賓ご挨拶

経済産業省商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐(総括)松本理絵様の挨拶(ご都合により欠席のため、事務局の山田が代読)2021年10月の岸田内閣が発足し、成長と分配の好循環に

よる新しい資本主義の実現が掲げられました。今後は社会全体のデジタル化が進み、あらゆるものがデジタル化対応を求められる状況となっていくでしょう。経済産業省では企業のDXを推進するため、DX認定制度の設立や、DX投資促進税制の創設など、社会全体のDXを牽引していく企業の後押しをしていきます。又、中小企業のサービス等生産性向上のITツール導入支援等も行って、なおかつ地域の企業・産業のDXを加速する人材の確保等を行うプラットフォームの構築など、社会全体のデジタル化を推進していきますと、ご挨拶をされました。

■乾杯挨拶

乾杯の挨拶は、杉山副理事長が行いました。その後、通常の賀詞交歓会とは違い、お酒を継いで回らない・歓談の際はマスクを着用し、感染のリスクを出来るだけ減らすという、感染対策に関する諸注意もご案内致しました。



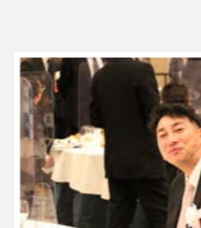
挨拶をされる新北海道支部長の齋藤様



挨拶をされる新北陸支部長の池田様



締めの挨拶をされる川崎副理事長



食事を楽しんでいる参加者



テーブル上に設置された衝立

■歓談の様子

今年の賀詞交歓会は、感染予防対策のため、例年と違う点が多くありました。受付においては、ワクチン接種証明の提示、検温とアルコール消毒の実施後に指定されたテーブルへの誘導という形が取られ、参加費については、受付が密になることを防ぐため、振り込みを参加者の皆様へお願いし、少しでも密になる可能性を極力減らす工夫が取られました。

会場においては、1テーブル4人の着席の形式を取り、テーブル上には、感染予防の衝立を設置。お酒を注ぎ回ることを自粛して頂き、テーブルで食事を楽しんで頂くため、メニューにも工夫を凝らしました。お食事を楽しんで頂いた後に、マスクを着用して頂き、名刺交換の時間を作るという、感染の可能性を徹底的に避けることを目的とし、賀詞交歓会の運営を行いました。

今回の賀詞交歓会は、受付・着座位置・メニュー・名刺交換等の各要素も入念にホテルとも打ち合わせを行い、細かい配慮により、参加者の皆様が安心して頂けるように、関係者で開催直前まで尽力しました。

■新支部長挨拶

北海道支部の新支部長に就任した齋藤支部長からの挨拶では、北海道支部の特徴や状況を説明し、テレワーク等を活用したニアショア案件募集のお願いや、今後の活動の意気込みのお話がありました。

北陸支部の新支部長に就任した池田支部長からは、北陸支部の現状と今後の活動について、ご挨拶がありました。北陸支部は東京から新幹線で2時間30分ほど、東海地区や関西地区からも3時間前後という、ちょうど真ん中のあります。テレワークが進んでおり、ニアショアの出来る体制を取っている会員様も多いため、ニアショア案件をお願いしますとお話がありました。

■食事の様子

参加者の中には、テレワーク等で実際に会うのは1年ぶりという方もいらっしゃった様子もあり、久しぶりでずいぶん久しぶりという声も聞こえてきました。やはり、実際に会って話すのは、良いですねという意見もあり、不安もありましたが、開催して良かったのではないかと

ということを考えさせられる場面もありました。又、支部を超えた情報交換や、今後実施されるイベントの報告や案内など、活発な情報交換も実施されました。

■締めの挨拶

締めの挨拶は、川崎副理事長が現状のコロナの感染状況を踏まえつつ、人材不足等ビジネスを取り巻く環境にふれ、当面は余談を許さない状況ではあるが、人脈やネットワークを活かして、ビジネスの発展を目指していきましょうという前向きな元気になる締めの挨拶を致しました。

■理事によるお見送り

賀詞交歓会の最後は、参加の会員様を理事の方々が一列になってお見送りをします。



会場の外でお見送りをする理事の方々

開催データ (東海支部)

2022年1月20日/場所：名古屋ガーデンパレス 3F 葵の間
参加者：22人/備考：感染対策を厳重に行い実施



感染予防対策を実施する受付



当日の式次第

- 17:00 理事長挨拶 南出健治
支部長挨拶 高木秀明
- 17:20 乾杯挨拶 清川茂満
テーブル毎に着席会食
- 18:30 名刺交換
- 18:50 中締め挨拶 植木准



新年の挨拶をオンラインで行う南出理事長



オンラインで挨拶をする東海支部高木支部長



乾杯の挨拶を行う清川顧問

先日、名古屋ガーデンパレスにて、JIET 東海支部賀詞交歓会が開催されました。東海地区では前年12月末までは、それほど感染者数が増えておらず、賀詞交歓会の開催は当初問題ないと思われていました。ところが年始を迎えての急激な感染拡大を受け、幹事間でも開催しても良いのではという意見と、政府のまんえん防止規制が出る前でも中止にすべきという意見が出ました。開催直前になって開催すべきか中止すべきかの意見はまとまらず、前日まで話し合いは継続されました。又、地方から支部長や幹事の方会員の方等が参加される予定でしたが、人流が感染拡大の原因の一つにもなりかねないという意見も出たため、東海支部会員のみの参加という形で賀詞交歓会は開催されました。

■理事長挨拶

南出理事長が感染対策のため、オンラインにてご挨拶を致しました。当初は会場に参加する予定でしたが、オミクロンの

感染が急激に増加している状況を鑑みて、急遽変更をお願いしました。南出理事長からは、東海支部や北陸支部を立ち上げた清川氏の紹介や、日本経済の今年の見通しなど、様々な観点から、来場者の皆様に挨拶を致しました。

■支部長挨拶

昨年6月より新支部長となった、高木支部長もオンラインで挨拶を致しました。自社業務都合で会場に参加出来ないということで、急遽変更となりました。コロナの感染拡大の状況の中で各社が営業活動等がかなり苦慮している状況なのが垣間見える時期であることが実感されました。

■乾杯挨拶

乾杯の挨拶は元支部長で、東海支部を立ち上げた、清川氏がご挨拶をされました。昨年で一旦会社をご子息に移譲し勇退をされていた清川氏が、個人会員として、再度JIET 東海支部に元気に戻ってきてくれました。やはり支部を立ち上げた、

人脈の広さや、気づきあげてきた信頼を今後もJIETの活動に活かして欲しいという意見を、清川氏にお伝えし、今回は個人会員という立場で、乾杯の挨拶をお願いしました。

東海支部も、東京賀詞交歓会と同じように入口でのワクチン接種証明の確認・検温やアルコール消毒を実施して、感染拡大を考慮して、参加者の皆様が安心して、参加出来るように対策をとりました。又、食事のメニュー・提供時間も入念にホテル側と打ち合わせを行い、テーブルに着席し、テーブルの間隔も開けて、配置をおこないました。

■幹事の紹介

賀詞交歓会の途中で支部幹事の紹介がありました。当日は自社業務等で参加出来なかった幹事の方も見えましたが、参加幹事が各自壇上に上がって、自己紹介等や担当の役割の説明等の挨拶を行いました。様々な年齢の幹事がおり、20代から50代まで幅広い年齢層の幹事が、仲



テーブル上に設置された感染防止の衝立



挨拶をする植木副支部長



挨拶をする服部幹事



挨拶をする山本幹事



挨拶をする杉江幹事



感染対策の中でも、しっかりと豪華な食事となりました



挨拶をする八代幹事



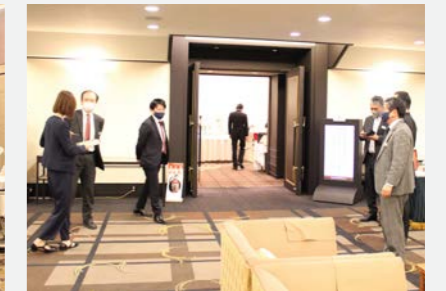
挨拶をする黒野幹事



挨拶をする石丸幹事



一丁締めをする参加者の皆様



お見送りをする幹事の皆様

良く活動しているのが、東海支部の特徴でもあります。

■食事メニューの内容にも工夫

コロナ感染者が落ち着いた状況での賀詞交歓会であったため、食事の品数や内容も、しっかりとホテル側と打ち合わせを行いました。感染予防のため、2時間という例年より短い時間において、迅速に配膳することが出来て、なおかつ参加者の皆様が満足出来る豪華な内容になるように、幾度となく検討を重ね当日を迎えました。

■中締めの挨拶

中締めの挨拶は、元支部長で現在は副支部長である植木副支部長が、挨拶をさ

れました。感染対策には完璧というものは無い一方で、営業等の活動は継続して行かなければならないと、相反する現状の中で何が出来るのか?オンラインではなく直接会って話をするを求めるお客様にどうやって対応していくのか等の、様々なことを、独自の視点で挨拶をされ、賀詞交歓会を締めくくりました。

■幹事によるお見送り

東海支部賀詞交歓の締めも、東京の賀詞交歓会と同じで、毎回参加者の皆様の幹事全員でお見送りしております。参加した方とお話をしたり、感想を聞いたり、会員様の直接の反応を聞くことが出来る貴重な機会となっています。

■関西賀詞交歓会について

関西賀詞交歓会は、新型コロナ感染が急激に拡大しており、通常の形で賀詞交歓会を行うことが困難であると、関西支部の皆様判断により、決定されました。そのため、食事を出さない形の、名刺交換をメインにした名刺交換会という形で、賀詞交歓会の代わりのイベントとして開催されたため、イベントリポートとして掲載しています。賀詞交歓会を報告という形にはなっておりませんので、ご了承ください。

Branch Report

このコーナーでは、各支部からの最新情報や活動記録および告知、支部会員様などをご紹介します。自身が所属する支部のみならず、JJET 全体を俯瞰することで、支部を横断したビジネス創出のヒントとなる情報をお届けします。

Pickup! 東北支部 TOHOKU

Branch Leader

JJET 東北支部 支部長 伊藤 強
(株式会社アクティブクリエイト 代表取締役)



2003年6月 有限会社アクティブクリエイト設立 2006年6月に株式会社化し、2011年12月よりJJETに参加。本年2022年1月に山形市十日町に移転。現在に至る。2015年6月より理事、東北支部長。



文翔館（山形県旧県庁舎県会議事堂 国の重要文化財）

アフターコロナを見据えた情報交換を

2020年初頭に全世界に拡散した新型コロナは1月に入り、一旦収束に見えましたが、再度変異して勢いを増している中で、JJET 東北支部、ひいては東北地区企業としてどのような活動が出来るのかを考えながらこの文章を書いています。

まず東北支部のご紹介

東北支部は宮城、福島、そして山形の、いわゆる“南東北”の企業を中心とした会員構成となっており、商談会の実施は仙台市内で主に開催しておりました。そこで人と人との繋がりを重視した、対面による、商談会が行われてきました。

新型コロナ流行後は？

2020年度からオンラインでの幹事会・商談会の開催が主とな

りお互いの顔は見えるけど、オンラインではなかなか出来ない、お互い腹を割って、近況などをしつくり食事でもしながら話をすることが、出来ない状況になっておりました。そのような状況において、東北支部として、昨年11月、12月に約1年ぶりに集合型の商談会を実現出来たところでした。2022年の商談会活動は、再度コロナの状況をみながら、オンラインか？直接集まる方法か？はたまた両者のハイブリット形式での開催かは、支部幹事や会員様のそれぞれの事情や方針を踏まえ、支部の活動を今後も定期的に行って参る所存です。

新型コロナがビジネスに影響したことは？

コロナの影響下で約2年の歳

月が経過し、いわゆるリモートワークや在宅を中心とした開発等の従来に無い形態が急速に拡大しております。

それに先駆け東北支部ではいち早く、2015年ごろより遠隔でのシステム開発案件を意識し、他地域からの持ち帰りによるシステム開発案件獲得に向けて検討会を立ち上げて、活動を行って参りました。地域のITビジネスの特性として、コロナ前よりこういった「ニアショア」についてはすでに取り組んできており、ノウハウの蓄積がすでにこれまでの活動から十分にあります。一部切り出せるシステム開発の案件の情報などございましたら、是非東北支部会員へお声がけ頂ければ幸いです。

東北支部はどんな支部？

現在は新型コロナ感染対策のため、オンラインで幹事会や商談会

を行っているのが現状です。ですが本来ならば、人と人の繋がりがあってこそ、信用信頼に繋がりはビジネスのスタートになると考えております。ビジネスを新たにスタートするにはお互いを知ることから始まると思います。

今後はどんな活動を考えてますか？

現状オンラインという遠隔で仕事を行うにしてもまず、企業同士でお話をして頂き信頼関係を構築して頂くことが第一歩と考えております。会員様同士で交流して頂く活動も東北支部の大きな役目の一つと考えておりますので、状況の許す限り企業間で交流をして頂けるようなイベントを企画して参ります。

これまで東北支部の一大イベントとして、仙台以外での商談会の開催を他支部や他団体の方をお招きして大々的に実施して参りま

した。新型コロナが落ち着き、人の往来に物理的にも気持ち的にも制限がなくなって参りましたら、再度企画をしたいと考えております。

多くの会員様にご参加頂きました、山形名物である「芋煮会」のJJET 東北支部としての実施は、コロナ前には徐々に恒例となってきておりました。

最後に東北支部は人と人との繋がりを大切に、ビジネスの発展を目指して、活動を行って参りました。オンラインでの商談等が継続したとしても、この人と人の繋がりを大切にする、姿勢は変わりませんので、東北地区で活動されている多くの企業様には、是非どんなことでもよいので、お気軽にお声がけ頂けますよう、お願い申し上げます。

Branch Data

会員数：18名
企業数：18社
支部長：伊藤 強
問合せ：東京事務局/守屋
連絡先：03-6435-1261
E-Mail：office@jjet.or.jp

北海道支部 幹事 浅野 泰輔 株式会社株式会社アイ・ジー・エス 管理部係長

JIET × UNISON 合同青年交流会で北海道の若手を応援!

北海道支部では2021年11月にUNISON様との共催で6回目の青年交流会を開催致しました。

本年は「60秒間PRチャレンジ」を実施致しました。

コロナ禍のため昨年よりハイブリッドにて開催しておりますが、オンラインならではのトーンダウンも影響し、参加人数も芳しくない状況が続いております。

本年は参加人数が15社16人と少人数での開催となりましたが、少人数ならではの時間の余裕を活かし、細かい質疑によ

て相互コミュニケーションを図る絶好の機会となりました。

「全員参加型!60秒間PRチャレンジ」というテーマで、オンライン上にて一人一人、事前に配布したフォーマットに基づいて、個性を生かして工夫を凝らしたPRを行って頂き、盛況のうちに幕を閉じました。

私も(自称)若手として参加致しましたが、事前に何をどう話をするかも定まっておらず、一発勝負で臨んだ結果、右往左往しながら発言しておりました。猛省中です。

2022年にこのコロナ禍が収束し、経済活動もさらに活発化されることを祈りつつ、北海道支部では引き続き情報交換会をはじめとした各種交流会を開催していきたいと思っております。

今後もハイブリッドでの開催となりますので、道内外よりのご参加を宜しくお願い致します!

Ask

北海道支部 幹事
浅野 泰輔

千葉支部 幹事 高山 弘一 株式会社 ティー・エフ・シー 代表取締役

コロナ渦における支部活動の状況について

千葉支部で幹事を仰せつかっております、株式会社ティー・エフ・シーの高山と申します。千葉支部の幹事の中では最も最後に幹事に任命頂きました。幹事経験が少ない若輩ですが宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症のため、なかなか面での商談会、講演が開催出来ず苦労している状況です。そのような中でも千葉支部ではオンラインによる商談会、講演を実施し、沢山の会員様に参加していただいております。最近の講演では「コロナ渦

でも強い企業にするための『銀行の選び方・付き合い方』『社員のキャリアアップのサポートについて』を開催させて頂き、普段聞くことが出来ない貴重なお話を伺うことが出来ました。一会員として非常に興味深い講演をして頂いたと思っております。

又、他団体との交流イベントへも積極的に参加させて頂いています。今回は「IT-EXPO 2021」へ参加させて頂きました。JIETに参加されていない会社・団体様と交流させて頂き、貴重な体験をさせて頂きました。

新型コロナの感染者数が、増減を繰り返し、容易に収束に向かわない厳しい状況となっておりますが、千葉支部は今後も感染状況を勘案しながら対面での商談会の開催を目指し、幹事一同努力して参ります。千葉支部の活動へのご支援・ご参加をお待ちしています。

Ask

千葉支部 幹事
高山 弘一

埼玉支部 幹事 久保 博之 株式会社明幸フォーラム 専務取締役

埼玉支部としての取り組み

埼玉支部としましては昨今のコロナ禍に基づきリモート中心の講演を実施しております。

11月に実施しました講演は、『テレワーク時代の健康管理』と題しましてテレワークが増えた昨今、運動不足による肩こりや腰痛等の改善について講演をして頂きました。

小職もテレワークが増えたり、外出が減ったりと、肩こり腰痛が最近酷かったのでカメラの前で皆様と一緒に柔軟体操を行いました。

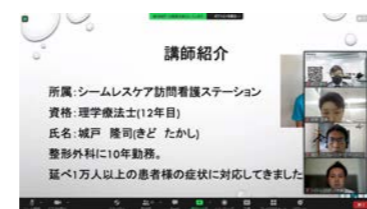
皆様も日頃の体調管理はお気

を付けなさせていただきます。

次回の埼玉支部営業商談会は大宮にて3月10日開催となります。

年明けから全国的に感染者が増えており、どのような状況になるかわかりませんが、支部としては初のハイブリット開催となります。

まだ集団での懇親会の開催は厳しそうですが、現地参加、オンライン参加、心よりお待ちしております。



Ask

埼玉支部 幹事
久保 博之

東京支部 支部長 中尾 洋道 株式会社明幸フォーラム 代表取締役

東京支部 商談会開催報告 2021年11月～12月

東京支部では感染症に留意しつつ2021年末にかけて会場集合型の商談会を再開して参りました。オンラインも並行して実施しており、首都圏外から定期的にご出席頂いている方もいらっしゃいます。営業の場・情報交換の場として、リアルでの実施を歓迎頂いていると実感しております。11月12月商談会の様子をご紹介いたします。

【11月商談会】
11月24日 会場：AP 秋葉原
講演：株式会社アルガリ
代表取締役 岩田 昇資様

遠隔ロボットの活用 (AI、ドローンなどのIoT技術について)

ドローン空撮やロボット関連の分野で行政等多数のコラボレーション実績がある第一線の企業様より近未来をふまえたロボティクスの現状とこれからのついてお話し頂きました。オンライン参加より来場参加の方が多くなり、会場はさらに熱気にあふれました。

【12月商談会】
12月20日 会場：JIET 会議室
講演：株式会社メンタリスタ
代表取締役 大儀見 浩介 様
ビジネスに活かすメンタルトレー

ニング～ポジティブ感情とモチベーションを高めるテクニック～

一流アスリートのメンタルをサポートされている大儀見様より、ビジネスや日常でモチベーションを高め維持する手法についてお話を頂きました。非常にわかりやすく情熱をもってお話を頂き、ご納得を頂いた方が多いように感じました。

Ask

東京支部 支部長
中尾 洋道

神奈川支部 幹事 高橋 智明 株式会社ゼロワン 代表取締役

2年ぶりの懇親会を開催!

神奈川支部は、商談会の内容もさることながら、商談会後の懇親会が元気で活発ということで有名でした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の中で、懇親会が出来なくなっているのが現状でございます。

商談会自体は、対面でのリアルとオンラインのハイブリッド開催という形で、毎月開催を維持していましたが、懇親会は新型コロナウイルス感染防止のためどうしても中止せざるを得ませんでした。

しかし、新型コロナが一時的にも落ち着いている状態になっ

たので、昨年12月に約2年ぶりとなる懇親会を感染防止対策を行い開催することが出来ました。もちろんマスク会食などもあり、今までのように盛り上がるようなことは出来ませんでした。懇親会でコミュニケーションを取ることの大切さを改めて実感することが出来ました。

まだ完全に新型コロナウイルスを克服出来たわけではありませんので、今後毎月のように懇親会をやることはまだ無理ですが、ご参加頂いた会員様のお役に立てるような商談会の運営を

今後行って参りますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております! 元気で明るい神奈川支部を、今後とも宜しくお願い申し上げます。



Ask

神奈川支部 幹事
高橋 智明



東海支部 幹事 服部 治 株式会社スターシステム 執行役員経営管理本部長

ビジネスには出会いが大切、JIETは様々な出会いを演出してくれます

株式会社スターシステムの服部と申します。弊社は、愛知県名古屋に本社を置き、東京事業部として田町と日野市に営業所があります。又、愛知県犬山市と西日本エリアの拠点として広島市にも営業所があります。

お客様は、本社が愛知県という地域から、製造業のお客様が多く、又、最近、官公庁のお仕事も順調に拡大しております。社員数は250名ほどですが、今後東京事業部の拡大を重要視しております。

「売上の拡大と多様化する社

会ニーズへの挑戦」をテーマに日々、社員一丸となって仕事に取り組んでおります。

私は、年度経営計画書の策定や全員経営（アメーバ経営の進化系）の浸透などを主な仕事としております。

JIETでの私の役割は、支部会員を増やすことです。私自身、JIETで知り合った会社との取引を拡大させて頂いた経験から、JIETに加盟するメリットをお話しさせて頂いております。現在その会社は、実際に弊社の主要取引先になっております。

そのような経験から、真剣にJIETの活動を行えば、必ずビジネスチャンスにつながると確信しています。

東海支部の特徴は、アットホームな雰囲気であるということです。参加者がフレンドリーで、自由な雰囲気の中、商談のみならず、経営上の悩みなども相互に相談しあうことで、支部の価値を高めていると思います。

Ask

東海支部 幹事
服部 治



北陸支部 幹事 谷口 亨 北国インテックサービス株式会社 システム部 担当部長

ビジネス志向で変化をチャンスに! ウィズコロナで地方と全国を「繋がる」支部へ

会員と信頼で「繋ぐ」ハイブリッド / オンライン商談会

北陸支部では、オンラインとハイブリッドで交互に毎月商談会を実施しています。商談会では、「案件情報」「人財情報」だけでなく個人的な事情を交えた「近況」を会話しながら、会員の人柄や性格（人間性）を知ることにより相互に信頼関係を形成しています。

クラウド環境で「繋がる」ビジネスへ

オンラインミーティングが定着し開発環境のクラウド化が進

む状況下では、客先常駐システム開発からネットワークで「繋がる」地方での広域的開発へ変化する方向が見えてきました。JIET全国各支部ネットワークを活用した地方から全国と「繋がる」ビジネスが今後創出されることを期待しています。

情報交換会

年一回の支部の大イベント「情報交換会」を11月に実施し、全国各支部会員や北陸地域で未入会の方々を含めて広く意見交換を行いました。当日お招きした講師の方による「サービ

スの本質を科学する」をテーマとした講演会では、「お客様の事前期待」を見定めることにより満足度向上に大きく成果を出せることを学習し、明日からのビジネス運営の気づきとすることが出来ました。

今後も講演で学んだことを支部の運営にも取り入れて活動して参りますので、北陸支部を宜しくお願いします。

Ask

北陸支部 幹事
谷口 亨



関西支部 幹事 南 義孝 エレクス株式会社 専務取締役

結束力と間口の広さは、支部 No.1

私、エレクス株式会社の南と申します。関西支部の幹事をさせて頂いております。

現在は、埼玉の本社で活動しておりますが、2017年12月～2021年2月までは、大阪に居を構え、4年ほど活動をさせて頂きました。「大阪時代」＝「JIET 関西支部の幹事」と言っても過言はありません。(笑)

関西支部の仲間は、優しく、楽しく、心の広い方々ばかりで、関西を離れた今でも仲良くさせて頂いております。

弊社は、本社は埼玉で、東京、

大阪、沖縄に拠点があります。

最近では、インフラ系の仕事が多く、AWSなどの技術者を集めることが多いです。

直近では、BOXの移行案件が4月ごろから走り出すので、ご経験の方がいらっしゃいましたら、ご一報頂けると幸いです。(リモート可です)

関西支部の活動は、通常は月2回の情報交換会、月1回の営業商談会と、営業で接する機会が多い支部です。

月2回の情報交換会では、事務局に集まり、具体的な案件や

人材紹介、会社案内や近況報告など多岐にわたる話を、膝突き合わせて情報交換を行っております。コロナ禍では、オンライン、ハイブリッドと臨機応変に開催しております。



Ask

関西支部 幹事
南 義孝



九州支部 幹事 池田 龍彦 株式会社 MJC 部長代理

九州はよかところ!

皆様、九州についてどのようなイメージをお持ちでしょうか?

「首都圏から遠く不便」「田舎」「仕事が少ない」……など、お持ちではないでしょうか。

しかし、近年は九州への移住者も多く、福岡県以外でも各県に広がっております。

これには色々な理由はありますが、コロナ過でテレワークという業務形態が認知され、働く場所は自分で決められる時代へと変わったこともあります。それより、仕事と生活のバランスを考える方も増え、大人気地域とな

りました。

又、「生活しやすい」だけの地域ではありません。

大手企業も続々と九州に拠点を構えており、今後には世界的IT企業 G ●● gl ●社なども拠点を計画されている情報も出ております。

私たちの「IT 業界」においても注目されている地域です。(本当です)

これからの九州は、「出張で行くところ」「観光で行くところ」ではありません。「仕事/生活をするところ」です。

JIET 九州支部も益々盛り上がるのが「確実」となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



Ask

九州支部 幹事
池田 龍彦

バンコク支部 支部長 小暮 恭一 株式会社エム・ソフト 取締役会長

泰日工業大学との連携で採用活動 (JobFair) を開催

バンコク支部長の(株)エム・ソフト小暮です。まずは、日本とタイ、約4,500kmという物理的空間を超えての協働イベントJobFairをオンラインという方法を考案・検討し、入念な準備の元に開催まで尽力頂き、多くの皆様に満足頂き、お褒めの言葉まで頂くことになった、イベントの成功への立役者の事務局山田さんの知恵と努力に感謝致します。

開催にあたっては、日本型物づくり大学を目指す泰日工業大学との連携作業に運営上の難し

さがありましたが、会員企業から強く望まれ、期待された活動でありました。

今回は参加企業8社、参加学生数192名、関係者を含めた全体参加者数が230名という一大イベントとなりました。文化の異なる国と国による意識合わせの苦労、打合せ通りに進まないもどかしさなど様々ありましたが、学生は積極的に質問するなど活発に意見交換が行われ、結果として成功裏に終了することが出来ました。

JobFair、つまり採用活動は企

業にとって非常に重要な活動です。採用は企業の継続性そして成長発展を左右する重大な経営戦略だからです。バンコク支部は、会員企業発展への貢献という使命を持って今後も活動を続けて参りますので、今後このようなイベント等を開催して欲しいとか、ご要望があれば、お気軽にご相談ください。皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

Ask

バンコク支部 支部長
小暮 恭一

沖縄支部 幹事 城間 幹夫 トランクゲーツ株式会社 代表取締役

今年も WITH コロナとして運営を行っていきます

沖縄支部幹事を仰せつかっております、トランクゲーツ株式会社代表取締役 城間幹夫と申します。

沖縄支部は2017年2月に設立して以来、今年で5年を迎えました。会員数はまだ少数ですが、地元沖縄でのビジネスの取引のお役に立てるようイベント等・企画を考えております。

昨年は「リゾテック沖縄」という地域のイベントにもJIETとして参加させて頂きました。

現在、沖縄県は新型コロナウイルスの第六波の影響により感

染者数が日々増えている状態です。懇親会も2年近く開催出来ておらず、会員様方とは中々親睦を深める事が出来ない状況です。少しでも早く新型コロナウイルスが収束し、会員様方と懇親を深めたいと心から祈っております。

また商談会について昨年に引き続き、ハイブリッド形式(集合型+オンライン型)で開催する予定です。講演会も行いますが、コロナ禍で企業様の業務管理や営業方法についても情報交換及び討論会を開催していき

いとっております。

オンラインでも開催するので、是非沖縄でビジネスを考えていらっしゃる企業様は県外の方でもご参加頂けたら幸いです。

今後の課題として沖縄支部会員企業の増強を目指しております。もっとより良い会にする為に沖縄支部一同、今年も全力で頑張ってお参りますので宜しくお願い致します。

Ask

沖縄支部 幹事
城間 幹夫

台北支部 幹事 林 崇仁 ハンドレッドプラス 総経理

日本でクラウドサービスを応用する企業とパートナーとなりサービス提供

百加資通は企業の諸手続きをワークフロー化し各書類を電子化するソリューションサービスを提供する会社です。

弊社は専門知識・長年培ってきた業界経験を生かし沢山のパートナーと組み、台湾国内において高い評価を頂いてきました。更に、安心・安全に製品を応用する企業と、開発・販売して頂けるパートナー関係を築

き、日本でより良いサービスを提供していきたいと考えています。

弊社製品の101Form.netは、クラウド型のBusiness Process Managementシステムで、快速なペーパーレス化や経路化の管理、コーディングを要しないフォーム設計から、経路設計、統計分析まで、IT関連以外の企業でも手軽に作成する事が出来、企業内の作業効率向上と作業コストダウンが見込め、安価で簡単にペーパーレス化が達成出来ます。

弊社は、日本でクラウドサービスを応用する企業と、開発・販売して頂けるパートナー関係を築

き、日本でより良いサービスを提供していきたいと考えています。



Ask

台北支部 幹事
林 崇仁

ソウル支部 支部長 野口 義時 株式会社ジー・ソフト 代表取締役

オンライン商談会でビジネスマッチングを活発に

弊社は本社が名古屋に所在しています、株式会社ジー・ソフトの野口と申します。

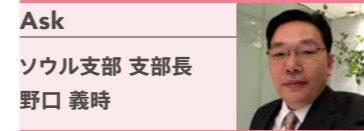
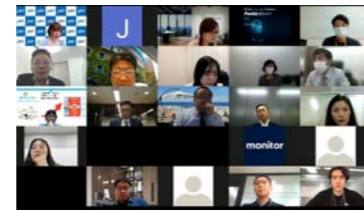
弊社は、社員は30名ほどで社内受託開発、技術者派遣(SES)、パッケージ販売などを行っている会社です。

主な取引先様は、製造業、サービス業のお客が多いです。

JJETではソウル支部の支部長を務めております。最近ソウル支部は、コロナ禍の影響で対面での商談会が厳しくなっておりますので、オンライン商談会の開催に注力しております。

去年は韓国貿易協会(KITA)様、韓国ソフトウェア産業協会(KOSA)様と合同で10月13日にオンライン商談会を実施し、日本企業14社、韓国企業21社、計42名様にご参加頂きました。ソリューションを売りたい企業(韓国)とソリューションを買いたいor代理店販売に興味のあるクライアント企業(日本)を明確化し、30分間の個別マッチング会では両社スムーズな商談を心がけて頂くことで、現在も連絡を取り合っている企業様もお見えます。

韓国は、IoT、ICT、セキュリティ、非対面ソフトなど様々なパッケージ開発の企業様が多いので、ご興味がある方は、是非お問い合わせ下さい。本年も宜しくお願いします。



JIET説明会のご案内

広報委員会では、定期的にJIETの説明会を開催しております。会員、非会員、問わずどなたでも参加可能です。

3月24日(木) 14:30 ~ 16:00 Zoom + JJET 東京事務局会議室
4月22日(金) 14:30 ~ 16:00 Zoom + JJET 東京事務局会議室
5月20日(金) 14:30 ~ 16:00 Zoom + JJET 東京事務局会議室

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-12-3 第一誠実ビル6階

こんな方々のご参加お待ちしております。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ① JJET 入会希望者、又は入会検討中の方 | ⑥ JJET を活用して事業収益に繋げたい方 |
| ② 非会員だが JJET に興味がある方 | ⑦ タイムリーなビジネス情報を収集したい方 |
| ③ パートナー企業様よりご紹介された方 | ⑧ 良い条件での案件人財情報を必要とする方 |
| ④ パートナー企業様をご紹介したい方 | ⑨ パートナー企業を必要とする方 |
| ⑤ 会員であるが JJET を活用されていない方 | ⑩ 代理店や販売戦略などを必要とする方 |

上記以外でも教育やリクルート、各種セミナーや勉強会、労務関連や働き方改革、助成金や給付金など様々な情報を得る事が可能です。会員企業様の売り上げ向上となり事業促進に繋げていけるよう是非 JJET を知って頂き、フル活用して頂きたいと思っております。

参加お申し込み、お問合せは JJET 事務局まで TEL. 03-6435-1261

JIET 説明会
3月 ~ 5月
開催日程

日本最大級のIT団体が仕掛ける
ビジネス課題への挑戦!

JIET EXPO

ジェット エキスポ

2022 ハイブリッド
大商談会

2022. 3. 23 [水]

9:30 ~ 12:00 web 展示会

13:00 ~ 17:00 ハイブリッド講演会

会場: ホテルグランヴィア大阪 | 20階「名庭」



来場登録はコチラから

入場料 無料

< 基調講演 >

[講演者]

サントリーマーケティング&コマース株式会社
専務取締役 坂井 康文 様

[講演内容]

サントリーの企業ブランディングと、
最新のデジタルマーケティングの取り組み



JJETでは、健康と安全を第一に考え、「飛沫の防止」「接触の防止」「ソーシャルディスタンス=人と人の距離を取る」となどに積極的に取り組み、皆様のご来場をお待ちしています。



■主催: 特定非営利活動法人 日本情報技術取引所 関西支部
■後援: 近畿経済産業局、一般財団法人関西情報センター
■関西事務局: 大阪府大阪市北区天神橋3丁目6番26号 扇町パークビル7階

■TEL: 06-6242-8671
■e-mail: kansai@jiet.or.jp

JJET 特定非営利活動法人
日本情報技術取引所

JIET COMMITTEE PRESS

PICK UP!

情報システム委員会

このコーナーでは、各委員会からの最新情報や活動記録および告知などをご紹介します。今号のピックアップ委員会は、「情報システム委員会」です。委員長の佐々木喜興さんより、現在着手中の「Cloud-JIET リニューアル版」についてご紹介頂きます。



About COMMITTEE

情報システム委員会では、会員様の会社情報や案件・人財情報の登録や検索、JIET 主催イベントへの参加申込など JIET 活動の起点となるサービスである [Cloud-JIET] を運営しております。

情報システム委員会/委員長の佐々木です。皆様には、日頃より Cloud-JIET を利用頂きありがとうございます。

情報システム委員会は、「ビジネスの創出と良い取引の実現を目指して」という JIET のスローガンを実現する為、Cloud-JIET システムの改修や利用規約の改定等に取り組んできました。

現行の Cloud-JIET システムは設置より約 6 年が経過し、老朽化に伴うシステムの維持や拡張が困難な状況となっています。そこで昨年 4 月より新システムの検討を本格的に進めて参りました。このたびは、現システムとリニューアル版の機能比較、画面イメージなどを紹介させていただきます。

まず、システムの顔となるトップ画面には、ユーザの皆様が直感的に理解出来るように表示項目・操作項目を大きく表示する予定です。利用頂く皆様が「このシステムで何をすべきか」を迷わない様にデザインします。検索機能を中心に主要な機能を目立つように配置します。検索を中心に利用するシステムであるという位置付けをしています。

又、新しい機能として事務局からのお知らせ、特定の会員様をピックアップして、製品やサービスを動画などでアピールする、会員向け広告スペースを追加する等を検討しています。開催予定イベントの一覧はカレンダーで表すことで、日程を一目で分かりやすく表示し

ます。

リニューアル版では、特に利用者同士の新たなビジネスをサポートするものとして「企業台帳」というページを設置致します。「企業台帳」では、これまでの Cloud-JIET では掲載が出来なかった、各社の特徴や業務分野、保有資格やエンジニアのスキル構成、開発実績など様々な情報を掲載することで、目的に合った企業検索が可能になります。又、お気に入り機能を活用することで同じ条件の企業情報を定期的に簡単にチェックすることも可能です。

さらに、使用頻度の最も高い「案件情報」「人財情報」においては、Cloud-JIET での SES を中心とした登録様式に加えて、受託開

Cloud-JIET リニューアル版
トップ画面イメージ



※画像はイメージです。

Cloud-JIET とリニューアル版の主な機能比較表

機能名	Cloud-JIET	リニューアル版
自社情報	基本情報の編集、得意分野・開発可能な言語・ツール等の登録	会員マイページを新設 基本情報、得意分野、PR項目の追加 案件・人財・製品等の自社情報を一元管理
会員リスト	基本情報・得意分野・開発可能な言語等の検索	企業台帳ページを新設 企業紹介文、保有資格、開発実績の掲載、得意分野の可視可・検索
案件情報	常駐案件中心	SES案件情報・受託案件情報を別ページで表示、検索可
人財情報	1名ごとの登録	1名ごとの登録・チーム情報の登録の双方可
イベントカレンダー	募集中のイベントをリストで表示	カレンダー形式でイベントを表示
ピックアップ企業広告	—	トップページに設置予定
掲示板機能	—	カテゴリに囚われずに聞きたいことやお知らせがある際に活用

発案件の登録、人財チーム提案が出来るようにページを拡張して参ります。

「企業台帳」や「案件情報」「人財情報」に掲載する情報を管理するために「会員マイページ」を作成し、自社の情報を一元管理出来るよう変更致します。

これらリニューアル版の各機能については、現在、基本設計フェーズに取り掛かっています。2022 年 3 月中に基本設計が終了し、詳細設計へ移行を予定していますが、詳細設計の担当企業については JIET 内での公募を検討しています。詳細についてはあらためて事務局

から案内致しますので、リニューアル版システムの製作にご協力頂ける方は、説明会へのご参加を検討ください。

Ask

情報システム委員会/委員長
株式会社シーキューソフト 代表取締役
佐々木 喜興

広報委員会

活用しよう! JIET 説明会

毎月開催 JIET 活用説明会

皆様こんにちは! JIET 広報委員長の貝瀬です。新生 J-SHIP、JIET の活動をより知って頂くアイテムとなっているのでしょうか。今号ではもっと JIET を知って頂く活動内容をご紹介しますと思います。

広報委員会では、JIET をフルに活用出来るように入会を検討されている方々や既存の会員様向けに「JIET 説明会」を開催しております。

今年は、昨年よりも開催頻度を増やして毎月一回の開催を予定しております。

今回は、3月24日(木)14時

30分～東京事務局(会議室)にて開催予定(ZOOM 併催)です。

是非、非会員のパートナー企業様をお誘いあわせの上、ご参加をお待ちしております。

ご参加頂きたい方々

- ・ JIET に興味がある方や入会をご検討されている方
- ・ 入会したが活用方法を知りたい方
- ・ ホームページや情報システムをフルに活用されたい方
- ・ 会社の PR が必要な方
- ・ オリジナル商品を広報したい方
- ・ 代理店の募集をしている方
- ・ その他共同事業やソリューションなどをお考えの方

上記以外でも自社にて JIET のスケールメリットを活かしていきたい方々など、より深く JIET を知って頂き、より一層の営業活動に活かして頂きたいと思っております。

J-SHIP だけでは語りつくせない JIET の魅力を皆様と一緒に共有してください。是非「JIET 説明会」を活用してください。ご参加をお待ちしております。

Ask

広報委員会/委員長
有限会社 ORCAS
代表取締役
貝瀬 幸敏



交流委員会

大型イベント企画中!ご期待ください。

交流委員会では、前号の J-SHIP27 で紹介した日本青年会との異業種交流イベントに続き、2022 年度にも大型イベントを開催する検討を進めております。

新型コロナウイルスについては、ワクチン接種が進み、経口薬も承認され、共存の道がある程度見えてきたのかと思っておりますが、変異種が次々に現れ、収束はかなり先になる可能性もあります。このような状況で、私たち IT 業界が、現状の課題解決の為に、大変期待と注目を集めています。しかしながら、行動の制限が多く、IT を求め

ている方々との新規の接点をとることが大変困難な状況です。

そこで、デジタル技術を駆使して感染対策を行った大型イベントを開催し、会員様だけでなく、会員外の企業様も参加して頂く交流イベントとすることで、社会課題解決の為にきっかりとすることが出来ればと思っております。

又、交流だけではなく、社会課題は何なのか、IT がどこで必要とされているのか、皆様が「気づき」を得られるよう、著名な方に講演を行って頂くことも検討しております。

素晴らしい機会を提供出来るイ

イベントにしたいと考えていますので、宜しくお願い致します。

交流委員会では今後も引き続き会員様のビジネス創出機会を一緒に作っていきたく考えています。私たちと一緒に活動していく仲間も大歓迎ですので、是非ご連絡を頂ければと思います。

Ask

交流委員会/委員長
株式会社シー・エス・エス
代表取締役社長
佐川 学



国際委員会

国際委員会が目指す今後について

皆様こんにちは。国際委員会です。国際委員会は日々、日本と海外でのビジネス創出に向けて邁進しております。

少子高齢化に伴い国民一人当たりの GDP の伸び率が低迷している昨今の日本にとって、いかにテクノロジーを活用しデジタルによる業務変革を成し遂げられるのかが非常に重要になってくるかと思っております。

又、コロナ禍により IT の重要性を痛感した今だからこそ、日本というマーケットだけに留まらず世界の優れた製品やサービスを「知る」こと、そして「実際に導入する」

ことが大切であると考えます。

そういった点から国際委員会はまずは海外製品やサービスを知って頂くという点に焦点を当て、イベントを企画して参りたいと思っております。直近の企画イベントとしては前回の J-SHIP にて報告した『日韓 IT ビジネス・オンライン商談会』です。韓国企業の様々な製品やサービスを日本の会員様へ紹介し、数件のビジネス取引の成立に繋がっております。この経験を活かし、今後はより活発に海外の優れた製品やサービスを日本の会員様へ PR 出来る場を設けていきたいと考えております。

今回の海外製品とのマッチングイベントは3月30日(水)に台北支部の製品・サービスをご紹介します。台湾にも様々な魅力的な IT 製品やツール、サービスがございます。これらを「知る」「実際に導入することにより皆様のビジネス創出の機会となればと思っております。このイベントに是非皆様奮ってご参加下さい。

Ask

国際委員会/委員長
株式会社 オフィス未来
代表取締役
杉山 茂治



青年委員会

「青年国際会議 2021 ~コロナ禍に DX 化の今を見る!~」を開催

私達、青年委員会では次世代を担うリーダーの育成や青年層のモチベーションアップ、ひいてはビジネスの創出を目指し日々活動しております。去る12月9日には「青年国際会議 2021 ~コロナ禍に DX 化の今を見る!~」と題し青年委員会、台北支部、日本青年会議所 IT 部会 (JCIT) とのコラボイベントを開催しました。当日はコーディネーターを青年委員会の池邊委員長、そして JCIT の酒井様、台北支部の李様、山本青年委員をパネラーにお招きし、2つのテーマで多角的な視点からディスカッションを



して頂きました。青年委員会として初めて海外支部と合同での開催となりましたが、85名と国内外で多くの方々にご参加頂き、大盛況のうちに終えることが出来ました。

青年委員会では次世代を担うリーダー育成、青年層によるビジネスの創出のため、様々な企画を

今後も検討実施していこうと思っております。今後の青年委員会にご期待ください。2022年も引き続き宜しくお願い致します。

Ask

青年委員会/副委員長
株式会社オーパシステムエンジニアリング
営業チーム コンサルタント
増田 佳也



働き方改革委員会

働き方改革委員会からの情報発信について

働き方改革委員会では、テレワーク推進、女性の活躍や生産性向上などについて委員会での情報交換やセミナーを開催してその情報を公開・発信しております。

特にテレワークについては、新型コロナウイルス感染拡大の以前からセミナー開催などで普及に向けた活動を行ってきました。

新型コロナウイルスの感染が拡大した影響で、多くの企業でテレワークが導入されましたが昨年実施したその導入後の状況についてアンケートでは、コミュニケーションや若手育成などで課題もあることがわか

りました。

働き方改革委員会では、テレワークの課題について参考となる事例紹介や課題の改善に繋がる情報を皆様に提供していきたいと思っております。

今まではセミナーを開催して情報をお伝えすることが多かったのですが、セミナーでは開催回数や人数など限られた中での情報提供となっていました。

新しい取り組みとしまして、SNSを活用した情報発信を検討しています。

SNSで情報発信することで小さな情報や事例などをリアルタイム

に発信する機会を増やしていき、又、皆様からの情報やご意見も相互にやりとり出来ればと考えております。

これまでのセミナー＋SNSによって発信＆共有される情報が皆様の働き方改革の参考となり、更にはビジネスの創出に繋がっていただければ幸いです。

引き続き働き方改革委員会を宜しくお願い致します。

Ask

働き方改革委員会／委員
株式会社 アルファ・ウェブ
取締役
柴崎 雅人



法務委員会

定款の変更履歴から見る JIET のあゆみ (第 2 回)

前号に引き続き、法務委員会としての視点から JIET の沿革をご案内して参ります。前号では、概要と NPO としての発足についてご案内しました。

【第 2 回 2010 年代の法令変更とその対応】

大きな定款変更があったのは 2012 年です。特定非営利活動法人 (NPO) の法人格は、非常に大雑把な説明ですが、毎年 1 回会員様に活動の報告と次の 1 年の活動についてのビジョンをお話する機会を設け、それを所轄官庁に報告する義務を負っています。会社

で言う「株主総会」に似ています。JIET では毎年 6 月に実施する「総会」がこれにあたります。

2012 年 4 月、行政の運用変更によりこの「所轄官庁」がこれまでの内閣府から、各都道府県へ移管されることとなり、JIET の所轄庁は東京都となりました。これらの事務手続きの変更に対応すべく、複数の条文の変更をおこなっております。

又、事務所を 2013 年に池袋 (豊島区) から浜松町 (港区) へ、そして 2018 年には五反田 (品川区) へ移転しており、この移転に伴って「主たる事業所」の記述が変更と

なっております。

2014 年には、理事による利益相反行為・協業等の禁止についての明記を行っております。これについてはもともと NPO 法で定められている内容であり、定款への記載が必須ではないのですが、さらに公明正大に、公共性、透明性を持った団体とするという意図のもと改正を行いました。

(第 3 回へ続く)

Ask

法務委員会／委員
株式会社 アイリス
代表取締役社長
山下 順



DX推進人材向け新検定

総務省後援

ワイヤレスIoTプランナー検定

「ワイヤレスIoTプランナー」検定は、DXを推進する企業、自治体、団体において、IoTを進める中核リーダーの知識を認定する資格制度です。

認定研修

実施日 2022年6月25日(土)
2023年2月 4日(土)
内容 講義6時間 + 確認テスト30分
受検料 22,000円(税込)

検定試験

実施日 2022年 5月27日(金)～ 6月27日(月)
2022年11月25日(金)～12月26日(月)
内容 CBT試験 60分
受検料 13,200円(税込)



公式テキスト MCPC 監修、リックテレコム刊

検定対応公式テキスト

DXを推進するには、IoTで何が
できるか、IoTを導入するとき
に何に気をつければよいか、が
すぐに判る!

ネットワーク、セキュリティから
AI(人工知能)、その他関連知識
までコンパクトに紹介

5G&L5Gで飛躍する モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階
MCPC <https://www.mcpc-jp.org/>

検定・講習会のお問合せは
MCPC検定事務局 TEL.03-5401-1735
FAX.03-5401-1937
E-mail:msec@mcpc-jp.org

拡大報告



支部長
関西支部

関西支部では、毎月の商談会・情報交換会に加え、青年交流会、ビジネスセミナーなど多様なイベントを開催しております。非会員への動機づけ、会員様のCS向上に繋げるために首都圏から始まったJIET EXPO。新たな出会いと学びを全国に向けて発信すべく、関西が今回の役目を担うことになりました。

岩下 隆祐 (株式会社マクティズム 代表取締役)

1976年兵庫県加古川市出身、歯科技工所の営業マンを経て1996年未経験でIT業界に飛び込む、2003年個人事業主としてアイ・シー・サポートを設立、2009年法人成り、株式会社マクティズムを設立、2014年JIET加入、2018年JIET関西支部支部長に就任、現在は受託開発会社からパッケージソフトウェア会社に向けて奮闘中

地方からIT業界を盛り上げる

新日本の労働人口は東京一極集中の状態が続いていますが、コロナによってドラスチックな働き方改革が行われテレワーク等作業場所を選ばない働き方が進み、今後コロナが終息した後もこの動きは止まることがないと考えます。

IT業界は特に場所を選ばない働き方ですので首都圏に集中したIT企業、IT人材がどんどん地方に拠点を移して行きます。

ITに関わる人々が地方で活躍する時代となってきました。

JIETは北海道から沖縄まで各地方に支部があり、このような時代にマッチした団体です。

しかし首都圏以外の会員数は全体の約35%となっています。これはJIETが地方のIT企業に対してまだまだ魅力的なご提案が出来ていない状況でもあり、これからチャンスでもあると考えます。

その様な状況の中でJIETは地方のIT業界を盛り上げる為に、JIET全体のイベントであるJIETエキスポを地方で開催することとなりました。

関西発ビジネス課題への挑戦

JIETエキスポとは、JIETの全支部、全委員会がIT企業、学生向けに様々な最先端の情報をお届けするイベントです。

地方開催の第1弾が関西支部での開催となりました。地方でこのような大きなイベントを開催するのは大変ですが、地域の為に全ての支部、委員会で良いイベントを築き上げたいと思います。

又、JIETエキスポを地方で行うことが出来るのはJIETの強みであり、地方創生に大変意義があると思います。

次回以降も様々な地方にスポットを当ててJIETからIT業界に関わらず全ての地方の発展に貢献したいと考えます。

今回関西で行うJIETエキスポの内容は

日時：2022年3月23日(水)

9:30～17:00

会場：ホテルグランヴィア大阪 20階「名庭」

+オンライン

企画

- ・ 出展企業による製品プレゼンテーション
- ・ 全支部、全委員会の活動報告
- ・ 講演



【基調講演】

サントリーマーケティング & コマース株式会社
専務取締役 坂井康文様



「サントリーの企業ブランディングと最新のデジタルマーケティングの取り組み」

【講演1】

経済産業省近畿経済産業局
2025NEXT 関西企画室
室長補佐 石原康行様



「2025年大阪・関西万博の活用と未来ビジネス」

【講演2】

ヤフー株式会社
執行役員 CIO (最高情報責任者) 兼 テクノロジーグループ
グループ CTO 服部典弘様



「ヤフーが挑戦するニューノーマル時代の働き方」

会場、オンラインでのハイブリッド開催となります。是非ご参加頂き、JIETの今を体感してください。

関西



3 March

R 商談会 (対面開催) **O** 商談会 (オンライン開催) **H** 商談会 (ハイブリッド開催)

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
28	1	2	3	4	5	6
7	8	9 バンコク O	10 埼玉 H 東海 H	11 東北 O 北陸 H	12	13
14	15 九州 H 神奈川 H	16	17 北海道 & 東京 H	18 沖縄 H	19	20
春分の日 21	22	23	24 広報 R	25	26	27
28	29	30 台北 O	31	1	2	3

4 April

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7 千葉 O 東海 H	8	9	10
11	12	13 九州 H 東京 H	14	15 北陸 H	16	17
18	19	20	21 神奈川 H	22 関西 H 広報 R	23	24
25	26	27	28	昭和の日 29	30	1

5 May

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
25	26	27	28	昭和の日 29	30	1
2	憲法記念日 3	みどりの日 4	こどもの日 5	6	7	8
9	10	11	12 埼玉 O 東海 O	13 北陸 H	14	15
16	17 神奈川 H	18	19 東京 H	20 九州 H 広報 R	21	22
23 関西 H	24 交流 O	25	26	27	28	29
30	31					

※ 2022年2月22日現在の予定です。各日程は変更・中止となる可能性がありますので、ホームページの「交流会・イベント情報」又は、各案内メールをご確認ください。